

報道関係各位

9月23日 手話言語の国際デーに合わせ 自社制作番組を全編手話付きで放送

岡山放送株式会社（本社：岡山市北区下石井二丁目10-12、以下OHK）は9月23日、国連が定める手話言語の国際デーに合わせ、自社制作番組の生放送部分を全編手話付きで放送するとともに、ろう者と聴者がともに映画鑑賞するインクルーシブ上映会を実施し、バリア（障壁）のない社会実現へ向けたメッセージを発信しました。



手話言語の国際デー2024年度ロゴ



手話協力スポンサーを表示した番組の様子



インクルーシブ上映会（忍足亜希子さん舞台挨拶の様子）

■実施内容

① 自社制作番組 8 番組に手話を付与

手話言語の国際デー特別版としてレギュラー情報番組に手話を付けて放送するとともに、ローカルニュースを手話付きで放送しました。さらに実施可能な自社制作番組8番組に手話をつけ、1日を通して手話が言語であることを広く発信しました。

「なんしょん？手話言語の国際デーSP」では生活関連情報やニュース、天気予報に生放送で手話をつけました。また番組スポンサーとは別に、この取り組みに賛同したスポンサーが“手話協力”として協賛しました。

お笑い芸人による漫才では、2人の手話通訳者が漫才の内容に合わせて動作や衣装を工夫しました。声色で役を演じ分ける1人漫才では音声情報が大きな要素になりますが、きこえない人もきこえる人も同時に楽しめるよう見せ方の細部に工夫を重ね、情報保障を超えたエンターテインメント分野での情報バリアフリーを実現しました。



手話通訳者が桃太郎とおばあさんを演じる(画面右下ワイプ)

また、同日に開催したインクルーシブ上映会に登壇したろう者の俳優 忍足亜希子さんに番組コメンテーターとしてご出演いただき、聴者のアナウンサーとろう者のコメンテーターで進行するインクルーシブな番組を届けました。

【放送実績】2024年9月23日(月・休)

- 3:45～3:50 さわやかOHK
- 11:25～11:30 ひろげよう！手話のわ
- 11:30～11:50 FNN Live News days（ローカル部分は11：45～）
- 14:45～14:50 ひろげよう！手話のわ
- 15:50～16:50 なんしょん？手話言語の国際デーSP
- 17:48～19:00 OHK Live News（ローカル部分は18：09～）
- 25:05～26:05 なんしょん？手話言語の国際デーSP（再）
- 27:20～27:25 おやすみOHK



②キャンペーンCM

「手話は言語である」ことを啓蒙するキャンペーンCMを、9月13日～23日の11日間放送しました。企画趣旨に賛同した協賛スポンサー名を表示し、企業と協力してインクルーシブな社会実現の啓蒙を行いました。



③インクルーシブ上映会

9月20日公開の映画『ぼくが生きてる、ふたつの世界』（配給：ギャガ）の特別上映会をイオンシネマ岡山で行いました。この映画はきこえない母ときこえる息子が織りなす物語で、ろう者の登場人物はすべてろう者の俳優が起用された注目の映画です。

上映会では、ろう者と聴者が一緒に映画を楽しめるようバリアフリー日本語字幕版を上映し、会場内には手話通訳者を配置しました。県内外から約200人が来場し、映画を鑑賞しました。

上映後には主演の吉沢亮さんの母親役でろう者の俳優、忍足亜希子さんの舞台挨拶が行われ、映画の撮影を振り返り、誰もが活躍できる社会への期待を語りました。

また来場者からの質問コーナーも設けられ、ろう者、聴者、そして映画で描かれたコーダ（Children of Deaf Adults/きこえない、またはきこえにくい親を持つ聴者の子供という意味）など、さまざまな背景を持つ人々がインクルーシブな鑑賞体験について積極的に意見を交わし、感動や発見を共有しました。



©五十嵐大／幻冬舎 ©2024「ぼくが生きてる、ふたつの世界」製作委員会



忍足さん（中央）と来場者の集合写真

④自社サイネージでメッセージ発信

手話言語の国際デー啓蒙のため、世界ろう連盟が立ち上げた「手話言語にブルーライトを当てよう」というイベントに合わせ、全日本ろうあ連盟が“「世界そして日本を青色に！-手話言語をブルーライトで輝かせよう-」市民・地域・社会をひとつにチャレンジプロジェクト2024”の参加を呼びかけました。このプロジェクトでは、世界ろう連盟や国連のロゴの色で平和を表すシンボルカラーである青色で全国各地の名所や施設をライトアップする取り組みが行われました。市民、地域、社会が一つになり、「手話が言語」であることへの認知を広めることを目指し、2022年からこのプロジェクトが実施されています。

OHKはこの呼びかけに賛同し2022年からライトアップに参加しています。今年は期間を延長し、国際ろう者週間である9/23～29の1週間、OHK本社のサイネージで「手話は言語である」ことのメッセージを発信しました。

